

1987年2月号

1987年2月5日発行(毎月1回5日発行)

No.122

あんふあんて

発行人/ 発行所/あんふあんて出版部
定価/400円 振替口座/ あんふあんての会 電話/

逐次刊行物

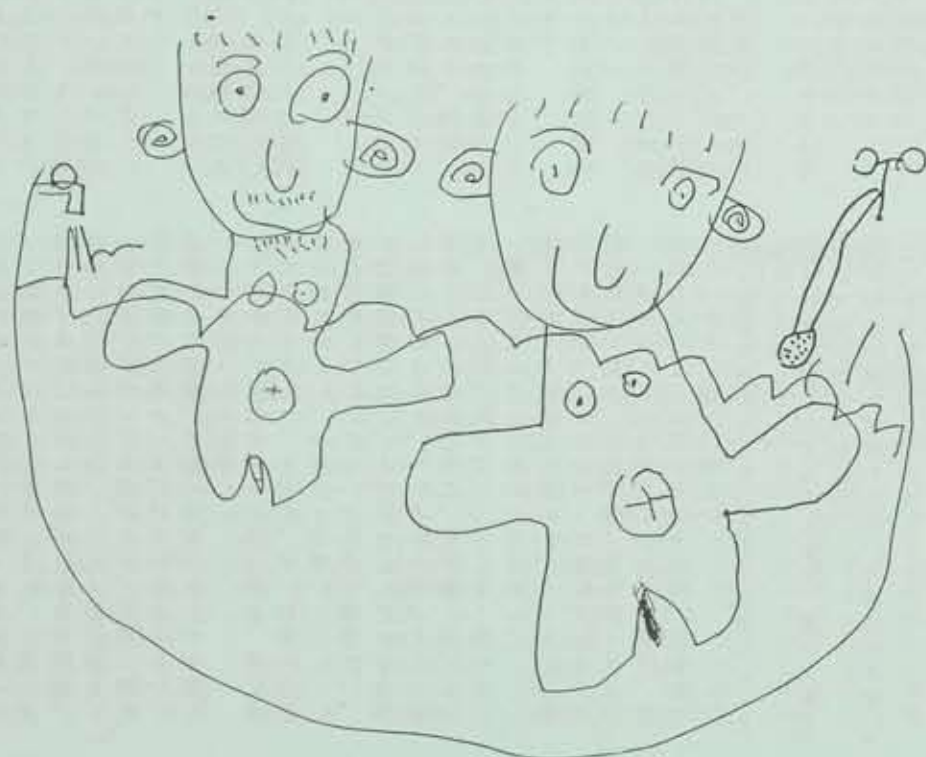
昭和62.2.15

国立研人教育会館
111号室

詩・絵 吉岡 (五才)

おとうさんさあ
おとうさんのおとうさんは
もうしんだんでしょ
おかあさんのとうさんも
もういないんでしょ
おとうさんも
おかあさんも
おとなになつてさあ
ぼくがうまれたんでしょ……
ねえ、おとうさん
どうしたら
おとうさんと
おかあさん
どうしたら
しないように……

おふろの中で



特集

仕事

「仕事」を考える

埼玉県

生活費を稼ぐのは夫、家事育児はほとんど私、なんておかしな思いつつ、子育てや生協や牛乳の事で忙しく、今日迄来てしまった働くことイコールお金を稼ぐことだけとは思えないが、お金の稼ぎ方と使い方は、納得の行くものではない。

あるひとつの仕事に対する情熱さえあれば……と切望する。生活する為の手段としてだけでなく、目的となり得る仕事。諦めや悟りは、未だ早すぎる。

知恵を授けようと、働いているあんふんての会員十名にアンケートを依頼した。市川グループみんなで質問の内容を検討する余裕もなく、私一人で作ってしまった為、観念的すぎる、何をききたいのかわからない等、評判のよろしくないものとなったが、しかし返って来たものは皆揃ったえのあるものばかりで嬉しかった。全て紹介したい。

まず、私は何を知らなかったか。仕事に拘束される時間や、家事のやりくりもさることながら、私自身試しても拭い切れない役割意

識や、お金と云うやっかいなものに対する意識、そして何が、生きて行く上で大切なものと思っているか、を知りたかった。もつと他にきき方があったのに、と歯痒い思いは募る。

★仕事に抱えられる時間はどのくらい？

★家事はどのようになっていますか？
仕事に抱えられる時間は、忙しい時とヒマな時もある。○から二四時間迄様々であるが、川崎さんをのぞいて皆、通勤時間三〇分以内である。近い所が良いと思うのは皆同じらしい。

家事はどのようになっているかと云うと、これは両極端に分れる。「全面的に私、夫はなにもしない」から「父親と子供がほとんどやる」まであり、「朝夕のごはんたき、掃除、雑用がけ、夕食後の茶碗洗などのは子供の仕事」と、子供と分担している人がかなりいた。

★今の仕事に満足していますか？
○もつと稼きたい。自分に合った仕事を見つけない。○神田・保険のセールス。

○家から近く、自分の職業歴として生かせるし、待遇もまあまあ。あと十年頑張ろうと思える所ではないが、大きな所に移ったとしてもそれなりに面倒だろうし、考慮中。(風戸・薬剤士)

○目的の為の過程だと割り切って考えるようにしている。(牧田・保育園給食作り)

○働く時間が中途半端で、お金が目的にしては額が少な過ぎ、他の事をやる程時間はない。居心地の良い所ではある。(外池・自然食店)

○時間が自由になると云う理由で選んだので満足。(大山・あんふんて事務局)

○やりたかった事だから嬉しいが、会員が不

活発なのでガッカリ。(川崎・あ事務局)

○まあ満足。フリーで重要とされ、仕事を運び切れず多忙。自分の時間がないのが問題。職場の人間関係が面倒。(古知・雑誌編集)

○体の弱い子がいても続けられ、定時に帰れ、母子家庭でも暮らして行ける給与をもらい、条件的には満足。自分の時間がないのが苦しい。(永田・写真製版)

○十時から六時位で終わる時は満足。多忙すぎたり暇すぎたり、不安定。が、自営の自由さは捨てがたい。(秋元・写植)

★自分のこづかいぐらいいは自分で稼きたい、が仕事は選びたい、とウジウジしている主婦に対してひとこと。(何事かを学ぶにしろ遊ぶにしろ、お金は必要だ。私が働く事によって、仕事人間の夫が変わってしまふ程の楽しい働き方なんて……ないだろうか)

○仕事を考えて直して欲しい。こづかいと云っている限り、フルタイムで働いている人の賃金低下を招き、女性が働く道を狭くするパートタイマーと云う形でしかないだろう。仕事は自分の足元を固める為に必要、計画をたてしつかりと選んで欲しい。

○自分の生計分ぐらい自分で稼きたい、と悩んでもらいたい。

○一度仕事をしてみたいと良い。何が大変で何が大切かが良くわかる。

○中途半端な気持ちでは、仕事はできない。こづかい稼ぎなら何でも良いのでは？

○何事にもプラスとマイナスはある。オール楽してつかめるものなどない。自分の譲れない線を、壁にぶつかって見つけ出すことも大事。家の外だからと云って何かがたやすく

見つかるものでもなく、家の中からと云って何も見えないものでもない。家の中の事に対して、評価が低すぎると思う。

○神・亭主の稼ぎの中で生活しているうちは、いくらエラソーな事を云ってもダメ。自分の手足で稼がなきゃ。選べる程ないんだから、目の前にある仕事ドンドンやってみる事。

○外・何をやって、どこへ行っても、結局は迷いつばなしなのでは？

○大・生活費を稼ぐつもりで始めないと、「男は大変だ」と稼ぐ男を仰ぎ見る事になるのはこわい。働く女にコンプレックスを感じる人はとにかく何でもいからやってみて。

○風・たとえアルバイトにしても、ひとつの職業だから縛られ、都合よく休めはしない。結局やりたいこともできなくなる。金なら金、仕事を選ばずそれが職場を変えても経歴となるものを。目的、ポイントを自覚してから踏み出した方がよいと思う。

★妻と家事も育児も分担しているが、父親とは……を考えると自信がない、と嘆く男性にひとこと。(父親に対する幻想は、かなり根強い。母親とて同じ事。「家」と云う觀念から解放されない限り、役割意識はなくなりないう。が、家族ってなんだろう……)

○永・家事・育児を分担している男性なんて少ないのだから、大いに自信を持って。

○牧・自分の血を分けた子であると執着するから父親を意識するのは……。

○川・理想の父親像なんて。家事・育児がらっぱに出来れば充分。

○秋・父親は父親でしょ。

○古・何を伝えたいか、どう生きたいかが問題。

子供と関わるなかで、自分も変わっていかなければ、子育てはシンドイだけ。親と云う役割を演ずるだけなら何も生まれない。

○神・父親とはなんて考える必要なし。家事の分担などとケチな事云わず、率先垂範してやるぐらいの心いきて女房をはたかせて。

○大・父親・母親とは考えるのはよそう。大人も子供も「自分」の生き方を考えれば良い。

○外・あまり自信持ってる男は、好きくない。

★お金に対して云いたい事をひとこと。

○永・自分の人生を生きようとした時、食いぶちを他人に任すのは、足元が不安定だ。主婦がいけないのではなく、自分の食いぶちを他人に預けたままの状態がいけないのだと思う。

○牧・あればいいし、なければないで対処できる感性の問題だと思ふ。

○川・金もうけの話にはのるな。

○古・お金にしばられない生活をしたい。

○大・自分でも生活保護でも……に使う時に差はない。要は心、関係性の問題。負担を感じる、感じさせる夫と妻の関係は、いろんな方法で改善すべきだ。もちろん金額の問題でもない。

○神・お金がないと主観通りに生きられなくても苦しむ。金がないと主観通りに生きられなくても苦しむ。金がないと主観通りに生きられなくても苦しむ。金がないと主観通りに生きられなくても苦しむ。

○外・あれば嬉しいが稼いだ分は全て消える。

★理想的な生活とは？

○永・適度なゆとりと緊張。質素だが、質の高い生活。そして笑ひ。

○牧・唯一絶対的な価値観に支配されない生活。

○川・家族みんなが同じように力を出し、同時に息ぬきすることもできる生活。

○秋・一日数時間の仕事量で、安定した生活。

○古・ある程度稼いで、ある程度家事やって、家族と快い関係が持てて、自分がずつと育って行けたらと思う。

○神・万物は流転す。理想も流転す。当面の理想は、ボーナスが百万円もらえるようになつたら、亭主を捨てる事。男優位社会でも、女が頑張って経済力を持つ事。

○大・冬はゆっくり起きて、午後映画館に行く町での生活。春・秋は魚貝を採り、山菜を摘んで、夜は友人が酒を持って遊びに来る、山小屋での生活。

○風・朝日新聞で紹介された、新潟の七人の子がいる保母・黒岩さんの生き方が、一つの例。沢山子供を生み、かつ自身の職業も持ち、自然体で生きられる日々。

○外・お金をためてスペインへ行きたいが、今スポーツに夢中で、この楽しみを投げうってまで頑張るって働きたいとは思わない。山小屋で自給自足で暮らすのも理想的。

★絶対的な価値観を持っていませんか？(絶対的なものなど何もない、と云うのもひとつの絶対的価値観か、と私は思うのですが、漠然とすくすく生きて答えにくいと云う声が多かった。)

○牧・過去と現在の世の中の価値観は、私にとって解放されない価値観である。

○古・絶対的と云う言葉にはひっかかるが、「明

日はわからない、何とかなる」

水・ある人にプラスでも、ある人にマイナスなら、そんなものはおさらばしたい。個々の事情でいろんな生き方を選べば良い。自分をみつめ直して個性豊かに生きて行きたい。女が外で仕事を続けてゆく事は、予想以上にきついことです。家庭を逃げ場とせず、しかも生活を犠牲にすることなく、働く事を考えて行きたい。あまり焦らないことが大切のようには思います。何事も一歩一歩。

神・何に對しての価値観なのか、具体的に示さないと答えにくい。私は保険のセールスを始めて四年になるが、本当はやめたい。もつと自分らしい仕事があるはずだと思う。が、好き嫌いなど関係なく会社勤めをしている男連の事を思えば、贅沢云々とおられぬ。迷って中途半端に仕事するより、全力投球するしかない。そのうち自分に合った仕事を、見出す事が出来るかもしれない。働かなければやって行けない現実が、働く原動力となったが、専主の稼ぎだけでくらせていたとしても、働かずにはいられなかったろう。到底りっぱな主婦にはなれないが、りっぱな主婦である事はちつとも誇らしくない。消費者活動をりっぱにやっても、共同保育、あんふあんて、地域活動をりっぱにやっても、砂上の楼閣のような気がして。

（END）

最後の神田さんのコメントには皆動かされた。とにかく、夢見がちな私としては、クドクドと考えるより、行動開始とゆきたいものだ。

春から働きます

千葉県市川市

専業主婦になって、もう二年近くたつ。私の場合、働いて給料をもらっていたのは、たったの一年間で、その後、再び大学に戻った。結婚後すぐ妊娠してしまい、論文提出とほとんど同時に出産。すべりこみセーフで、大学の課程を終了した。そして、娘と一緒に過ごす毎日となった。

そんなわけで、まだ、充分に働いたという実感が無い。それどころか、まだ何もしていないというのが現状だ。そのためか、子供が五カ月位になり、育児の目新しさがなくなる、ストレスがたまるといった。

「働きたい」と思った。ここで、私にとって、「働く」というのは、「社会における自分の存在感」につながる。「私は、社会に対して働きかけ、働きたいのに、まだ何もしていない」という焦りがあつた。それが、ストレスの種だった。

娘が、一歳三カ月になる四月から、保育園に預けて働くことも考えたが、「どうしてもやりたいこと」がみつからず、ふん切りがつかなかった。大学での専門を生かした職に就くことも考えたが、一歳の娘を預けてまでもと考えると、決めかねてしまった。又、この職を一生続けていきたいという気持ちにもなり切れなかった。私が働くことで、夫も娘も自分も、精神的・肉体的負担を負うなら、「どうしてもやりたい」と思うことが見つかるまで、働くのは待つことにした。

この時待ったのは、正解だった。（もちろん、どうしても働かなければならない理由が

なかったのは、幸運なことだが。）子持ちの女にとって、働くことは負担が大きい。そのため、働きだして、種々の問題が生じると、しわ寄せがどつと女にかかってくる。そして、挫折したり、ストレスが増すことが多い。だから、働き出す前に、覚悟しておくこと、整えておくことがたくさんある。そのひとつである、「長く続けられる仕事をみつける」準備をこの一年、ゆつくりすることができた。

その結果、自分にとって意義があり、一生の課題として継続していこうと思える仕事であり、且つ娘が小さい間は、融通のきく働き方ができる（いざという時は持ち帰って家でする）仕事を見つけた。

現在、娘の保育園の入園申込みをすませ、求職中の身である。今、来春新しいスタートを切ることに喜びと燃える理想が、心の70%をしめている。残りの30%は、娘を預ける不安と、自分と家族が負うであろう様々な負担への心配である。しかし、笑みを隠しきれないというのが実際のところ。後日の投稿をお待ち下さい。

家業と私の仕事

千葉県松戸市

我が家は、電気工事業を営んでいる。私の家の場合、自宅を事務所と兼用しているため、家庭全体が朝から晩まで、仕事と密着して動いている。もちろん、私も一人の稼ぎ手となつて働いている。夫と従業員三人は現場へ、そして、私は電話番・集金・経理・外部の人との応対等々……

自営業の夫を持つ女性の場合、仕事を持つという意識があるとか、ないとかと言う以前

に、家のために働かざるを得ないというのが本当のところだろう。

私は、私の出来る範囲の仕事を受け持つて、少しでも夫を助けたいというのが、正直な気持ちだ。

しかし、私にもやりたい仕事がある。現在フリーで、愛犬美容師をしているのだが、夫の独立、出産・育児等で、なかなか思うように仕事量を増やす事が出来ない。

時々、あせりを感じたりもするが、今のところはマイペースでやっていくつもりだ。

何年か先、へたぶん、子供が小学校に入ってから（家業の方と自分の仕事の兼合いをどうするか、問題になると思うけれど、自分の好きな仕事を一生続けようという気持ちは、変わらない。

再就職して

神奈川県藤沢市

私の就職活動、紆余曲折ありましたがようやく採用して下さるところがあり、現在毎日藤沢から新宿まで通勤しています。仕事の内容はゆるゆるな事務。腕に何の技術も無いことがこんなにもネックになるとは思いませんでした。しかも私の場合、年齢が三十五歳で限度に近い、通勤が遠い、離婚歴があるなどの悪条件が重なり、それゆえ十五くらいまでの面接を受けましたが、仕事のキャリアで勝負したくとも同情やなぐさめや別の次元の質問ばかり。ほとほと嫌気がさしました。しかしながら、それでも私にそれなりの物を見出したから採用して下さいたのでしよう、何はともあれ生活の基盤が出来ました。

しかし、相も変わらず一般事務の要求される仕事の質は低く、かえって若い時期の方が任されていた面が多かった様に今思っています。男性でも仕事の進め方や後輩の指導等さまざまな面で管理能力や責任感の持ち方が的はずれな人が現実にいるわけで、これは人ひとりひとりの違いであつて男女差では決してないという意を強くしています。

塾をやめました

市川市

あんなに意気込んで始めた塾も八六年三月でやめた。僅かだが収入を得られたこと、久しぶりに仕事をすると緊張感を味わったこと、フランチチャイブ方式の塾の中身がわかったことはプラスだった。

前の仕事は、「石の上にも三年」とがんばり、経済的自立の手段という強力な裏づけもあつて、結局十一年も続けた。しかし、今回は、わずか七カ月間だった。

始めて三カ月目で迷わずやめようと思った。理由は簡単。やりたくないからだ。心のどこかで「主婦って甘い」と醒めた声が聞こえるが、ともかくその「やりたくない」を探ってみよう。

①家でする仕事は、幼児を持つ母親には魅力的だが、内職同様非常に安く買いたたかれること。新聞でこの手の塾の時給は千円〜千五百円位と見かける。高給そうだが、夢々信じてはいけない。これは、学習日の生徒がいる時間だけで計算したもので、実際は準備・整理に時間がかかり、研修やリポート提出も多く、時給四、五百円にしかならなかった。



働かない理由

市川市

心身ともに健康な一人前の女であっても、「あなたはなぜ働かないのか」と問われることは、幸か不幸か今の日本ではほとんどないに違いない。しかし、専業主婦と呼ばれている女たちの多くは、ひそかに自問自答しているのではないだろうか。何か仕事をしたい。でも適当な仕事がない。自分の能力にも自信がないし、だいたい子供がまだ小さい。斯く言う私も、現実の障壁を数えあげては自分を慰めている一人だ。だが、ぎりぎりの心の奥底をのぞいてみると、これは欺瞞だなぁと思わずにいられない。真実職業をもちたい、働く必要がある、と考える人たちにとっては、仕事につくことを妨げるいろいろな条件は、大部分克服できるものだと思う。

中学校で教えていた十年間、やめたい、案にならないうと思いつながら、職業人としての責任を背負い、やめた仕事に対して評価もされなかった。何より、働くことは自分の人生を生きていくことの証だと思っていた。いや、思っているつもりだった。

ところが、退職して一年半たった現在、働くことに對してすっかり怖じ気づいてしまっているのはどうしたことだろう。精神的、肉体的に「解放された」心地良さに慣れてしまったからだろうか。確かに、疲れた体にムチ打って家事をし、子供を寝かしつけ、深夜机に向かう日々はつらいものだった。トータルな意味での教師という職業に自分は向いていない、と悟っていたからなおさらだった。新

聞の見出しを見る暇さえなかったその頃の私は、社会人としても教師としてすらも、視野の狭い欠陥人間だったかもしれない。ゆつたりとした気持ちで世の中を見直し、興味の向くまま学習することのできる今の暮らしはとても快適だ。働くことすなわちあの地獄の日々、という連想に悩まされるがゆえに、私は今働こうとしないのか。

そもそも職業をもつということは、私にとってどういう意味があったのだろうか。夫婦が経済的な働きと家事・育児のそれぞれを相手に預けてしまふ暮らし方は何とも不自然だ、と考えること。つまり、食べるためのお金を得ることも、自分の身の回りを処することへ家事も、本来は男と女が共に関わるべきことだ、というのが私の労働観だったはずだ。

しかし、これは「なぜ働くのか」という問に對して自分自身を納得させるための模範解答にすぎなかったのではないか、という気がしてならない。夫の収入に頼ってある意味で快適に暮らしている状況の中で、この建て前はすっかり色あせてしまっている。仕事をもちたない現在の境遇に對して、もう少し焦りを感じてもいいはずなのに。これまで生きてきた私の人生の中に、働くというものがきちんと根付いていなかった、というのが実感だ。何か背中を押されるような気持ちで再就職の準備に手を初めてはいる。だが、今私がやるべきことは、建て前を本音にする努力、そしてそれをエネルギーにして、本当の意味での新しい一歩を踏み出すことなのかもしれない。果たしてその一歩は、働くことへとつながって行くだろうか。

いろいろな言っではみたものの……

三郷市

私がまだ中学生だった頃。何の疑いもなく「大人になったら、私、働くんだ」と思っていた。学校を出て、しかるべき所に就職して、バリバリと仕事をこなし、絶対に平凡な結婚なんてするもんか。高校、大学と進むにつれ、視野が広がったのか狭くなったのか、就職した友人は、お茶汲みやコピー取りをするために入社したつもりはないと言ひ、仕事が大変な割には給料が少くないと言ひ、対人関係が面倒で、と溜息をつく。

何か「自分の好きなことをして、それが仕事になるならいいな」。それが「自分のやりたいことじゃなきゃやらないぞ」、に変わって、とうとう、会社勤めは性に合いません、というから、会社訪問はしないし、就職もしない、ということになってしまった。生活のために働くのは嫌だ。生き甲斐になるような仕事ならしてみたいけど、という訳で。

保護者に代わって配偶者が現われた。生まれてからずっと、誰かに養われてきている訳だけど、生活させてもらっている。という気持ちで、この頃特に大きくなってきた。自信も何もほとんど無くなっていくようで、自分でも嫌になつてしまふ。最近仕事が面白くなつてきてお」と、電話の相手は弾む声。今度は私が溜息をつく番だ。生活とか生き甲斐とかもう言わないから、私も仕事したい。本音。

（川上さんには今二歳の男の子がいて夏に第二子を出産する予定です。加藤）

原発事故 ― その5

学習会「原発と私達」に参加して

小金井市

「東京に原発を」を読み終えた頃、地元でこの本の著者の広瀬隆がやって来たので、話を聞きに行った。本を読んで原発の恐ろしさは身にしみていたが、その後の最新情報を三時間立て続けに、これでもかこれでもかと詰めこまれ、終わった時はしばしばう然。広瀬隆はこんな恐ろしい事を何と正確に調べ、冷静に話す人なのかと感心。しかし驚いてばかりもいられないので報告します。

内容その1。チェルノブイリ原発で起こった事。初期の新聞記事によると（後になるほど真実は隠される）、内部四千度・コバルト検出の表現が見られるが、これから推測すると、10億キュリーの死の灰が外に出たらしい。これは今まで世界中で起こしたすべての核実験の合計に匹敵する量である。

その2。過去の災害と比較しこれから起こる事。ユーゴでは妊婦が中絶に殺到したという。アメリカでは三十年前のネバダの核実験の後遺症が、今社会問題となっている。ピキニもスリーマイル島も同様に人体実験進行中だ。これによると、まず多く害を受けるのは子供で、白血病は2/8年、甲状腺障害は9/12年目に急激に増え、現在も増え続けている。公表されないだろうが、今後チェルノブイリ周辺でも同じ事が起きるだろう。今日本の電力会社が配っている「原子力は安全です」

のパンフは、ネバダの住人が受け取ったのと同じ内容である。アメリカでは議会で「我々は放射能の害について100/200倍の計算間違いをしていた」という証言が出始め、やっと放射能の体内への濃縮に気づいて、原子力から撤退する動きが見えてきた。

その3。日本の原発はどうなのか。電力会社は、チェルノブイリ原発は旧式だ、日本の原発は米ソのよりかはるかに事故が少ないから安全だ、と言っている。が実際は、チェルノブイリ原発は世界最高の原発の一つだったし、日本では事故が起きてから故障となり、事故として申告しなくてもよい制度なので、米ソより統計的には事故が少なくなつてしまふのだ。九州の玄海原発はガタガタなのに電力会社間の競争で長時間稼働記録を作ったというし、福井の原発塩害びび割れ、のニュースは地方紙で発表されるだけ。日本の原発建設の技術者はアメリカのまねをするだけで、原発の原理を知らないから、変な所でパイプを曲げてしまつたりして、メチャクチャな作り方をしている。なのに国民は安全であると思わ

されている。なぜか？ 原発止めても20兆の電力が余り、火力発電所の%が止まっている今、原発の目的は石油に代わるエネルギーなどではない、すべてお金のための。原発一基五千億円、政治家はリベート、地元は補償金をもらい、電力会社は投資の8割を自由にできる。だからCM最大のスポンサー。日本のマスコミが原発の危険性を報道しないのは、どのTV局・新聞社にも、幹部に原子力関係者がいるせいだ。NHKには解説の緒方彰（原子力産業会議の理事）etc。そして原子力産業

会議の幹部は、かつて太平洋戦争の幹部だったという。この老人達は更に原発を増やそうとしている。欧米の人は、「日本人はこんな新聞を読んでいて大丈夫か、日本が一番危ない」と言っているそう。

気がかりなのは食物の事、今は多国籍企業が世界中に食物を配っている、日本でもヨーロッパでも同じ物を食べている事になる。ウクライナの小麦も全部廃棄処分になったかどうか疑問だ。日本は貿易摩擦などで世界中から恨まれているので、もしかしたら日本に流れてくるかもしれない。現にフィリピンや中東には目が見えない牛が送られたそう。

私は事故後のTVで、ソ連の人々が平気でいるのは、国から何も知らされない為だと思つてはいたが、実は私達日本人もソ連の人々と同じく何も知らされていないのだとわかった。戦前の情報統制の時と同じなのだ。人間は巻き込まれている時はそれに気づかず、気づいた時はもう手遅れ。原発の事故が起きたら日本は破滅する。それは5年以内、遅くとも10年以内に起こるといふ。

とにかく自分自身の問題として考えてみて下さい。



あんふあんて から あんふあんて



離婚も人生のほんの一部分
町田市

「リコン・かつこん」は生きることのほんの一部にすぎないじゃないかい。グループ・リストにこの名前を見つけて、いいなあ、ぜひ入会したいって思いました。情報紙や一般新聞にこういう名称を出すだけでも、一種の働きかけをしていることになるかしら。できるなら私もそう言いたい。でも、主婦である職場の人たちにはまだまだ自分が離婚してると言えないのわ。

今の会社に入る時、半ば居直って正直に話したら、たまたま理解のある会社で採用されたし、その件はふせられたままで居心地のよい毎日を送っています。でも、同僚から「お宅はどちら？」と尋ねられてすごく困ってしまふ。狭い地域社会だからうっかり話せばわかってしまふそうなの。もと住んでいた地域で私は割と有名なのです。子供集めて面白くことばかりやってるオバさんだから、目立ちちゃってるの。

私の離婚のこと、理解してくれる人は結構多いんだけど、私の我がまま離婚だから非

難されても仕方ないんだけど、わかってくれない人はバカにするでしょうね。でも、大きな安心のカサの下から、ドシャ降りの雨の中に敢えて出て行くっていう女の、人間としての真実をわかってくれない人たちに、とかく言われるのはとても悔しい。

私は、本当は食い扶ちと老後は夫に何とかしてもらいたい女だった。でも、自分の夢や生きがいを考えれば考えるほど、それがとてもおかしいということに残念ながら気づいてしまった。それだけなら離婚するまでもないことなんだけど、こういう、女の最も深いところから湧きあがる思いに対して、感度の鈍い男がいやになっちゃったのわ。そこへたまたま感度のいい男が昔いて、夢を希求するのと同じ強さで私を理解しにくくさせてくれる人がはしくなっちゃったわけ。でも、仮にこの彼と結婚したとしても、自分の夢や老後や食いつかは自分で何とかしなくちゃならない相手だし。それにもう一人子供がほしいのだけれど、一人産んだ子は夫の元へ置いていかなくてはならないから、自分一人で育てる自信がなくて産むわけにいかないし。

こんなひどい茨の道に敢えて踏み出そうとしているのに、昔の私がそうだったように夫の給料は全部自分のもの、と決めこんでいる女の人たちに色々言われるのは、やっぱりいやだなと思ってしまう。第一、こういう生き方がひどく困難だということそのものが腹立たしい。それは私自身の問題かもしれないけれど、外的な要因も大きいんじゃないかな。それを克服していくためにも、力を出していきたいって思いませんか。

昔、社会や自分の弱さに負けて結婚した私だからこそ、若い人たちには自分の生き方を大切にしたい上での結婚を考えてほしいと思う。結婚しない自由、又あえて結婚しないで子供を育てる自由も認められてほしい。離婚に対する変な圧力もなくなっていけたらと思う。私たち一人一人が違った色合いの生き方を真剣に織りなす時こそ、社会が美しく輝いてくると思えるから。

ジャージが制服？

埼玉県

長男の通う町立の幼稚園は、今年から体操着のジャージを制服として毎日着ていくことになりました。会社勤めをしていたころ新入社員が、「ちゃんとした服装ってどういうのを言うんですか？」と聞いたのを思い出します。入園式も速足も運動会も、みんなジャージです。これでは前述のような質問が出るのも無理ないかもしれません。

長男の行く小学校もジャージが制服です。私は、幼稚園と小学校は私服が良いと思っていました。どうしても制服にしたいなら、きちんとした制服にして欲しいと思います。

私の義弟と義姉二人の計三人は、小学校と中学校の教員です。(年下です)それぞれ遊び着(？)やジャージで通勤しています。着ているものでなんとなく気分がちがうでしょ。と言うと、「そんなことはないよ。何を着てたって同じだよ。変わるほうがおかしいよ」という返事。やっぱり新人類なのですね。この人たちに教わる子供は？

第一子をもってみて

調布市

「オギャー」「やつと生まれたよ」

その後の私の生活の何と変わったこと。

体重二六五の小さな赤ん坊は、昼も夜も二時間おきにミルクを飲み、猛暑のせいか昼間はずっと泣きつづける。その間抱き続けたので、私の腕はたちまちあせもだらけになっちゃったのです。

今ではその息子も二歳四カ月になり、私のお腹には臨月の子がいます。第二子の妊娠は私にとってショックでした。やつと上の息子を保育園に預け、何とか職場復帰ができるあてができた矢先のことでした。核家族で、家事や育児の負担が重く、夫も忙しいし、これ以上、私の負担がふえることは無理でした。私は仕事と引きかえに、二人目の子供を産むことにしました。

息子は半年間保育園に通って、食事や着がえ、排せつ、友人関係などについて、随分いいしつけをもらったと思います。私自身も、漠然ともっていた育児不安を、いい友達を作った話したり、勉強会に出席する契機にしようと思っています。

結果的に、私は仕事をやめざるを得ませんでした。身近に協力者を得られたら、と考えたこともありましたが、いずれにせよ、今までろくに考えもせず力まかせでやってきて、少し疲れたので休みたい気分です。わずかな間子育てや育児に専念してから、改めて職についてくのもひとつの生き方ではないかと思っています。

地域活動を考えるこの頃

大田区

子供が次々と生まれ、三人目もおなかのなかで大きくなった現在も、昔の思い出をひきずり遠出する。でも、何か違う。そんな思いを持ちつつ行政主催の講座に参加するようになった。しかし、託児付の子育て講座のたぐいは、確かにノイローゼ気味の母親にとって救いの主かもしれないが、少々元氣な私には創造の場ではあり得なかった。

やはり自分の手で創り出していかなくてはと痛感し、児童館を自分なりにつくり変えていく構想を持ち始めた。夫や近所の老人、おばちゃん連中も巻き込んで異年齢層に及ぶ活動を目ざしている今日この頃です。

子連れはダメなの？

市原市

結婚以来、出産・育児の一年をのぞく三年間、夫の協力のもとに声優教室へ通っていました。ところが今年度進級させないというショックなことにになりました。理由は子供を一回学校へ連れて行ったこと。子供を預ける所を捜せば進級を認めるというのであちこちあたり、近くや遠くの友人に預けてなんとか今日まで来ましたが、来年度の幼稚園入園を控え、続けられるかどうか危ぶまれます。仕事を始めるには年齢的にも難しく、時間をどうつくるかが問題です。近くに子供を見合せて安心な仲間が欲しいと切実に思う今日この頃です。

入会アンケートから

大和市

五月号で呼びかけた交換ノート「ブルー模丁」、会員二名、元会員二名でスタート。様々なことを書きあつていく予定です。

でも、グループを作りだすって本当に大変なこと。人集めもままならず、まとめる力もない自分。どうしたらいいのかなあ。何か目標が欲しい。

浜松市

手応えのある仲間たちとめぐり合えて、毎日が充実しています。

現在、学力の面でやや落ちこぼれの子供八名の学習指導をしています。その子たちを含めて、何と傷ついた子供が多いことか。暗い気持ちです。

福岡市

「あんふあんて」の中の皆さんの意見を読んで啓発されています。もつともっと刺激を与えて下さい。

大阪府

一歳半の子供の世話と家事に追われる毎日です。月に一回くらい割合で芝居か映画を見に行つて息抜きをしています。時間があるようでない専業主婦の生活。自分の時間を少しでも多く持ち、有効に使いたいものです。そろそろ次の子を：とも思い始めている今日この頃です。

コラム

朝霞市

先号の市野さんの文を読み、預ける・預けないとグループ作り、活動をしてきた当時を思い出しました。

確かな人間関係というのは、やはりどれだけ一緒に「面倒さ」「困難さ」を抱え込んだかという時にできる土台の上に用意されると思います。いわゆる苦楽を共にするというやつです。しかし、不思議な事に苦しい事、キツイ事はつかり突きつける関係だけでも、結局、これ易いのが人との関わり。シンドラと同時多発的に愉快さ、気分の良さを共にできる仲間って大切よ。イージーって事も不可欠。

預ける・預けないと議論しあって、話し合っ、互いに「意見の上」では、多分、価値観は同じに違いないはずだった人が、どうも子供と共に遊んだり、行動したりするとズレができてしまう。正論先行の不自然さかな？私もかなりつまづいたけど、「これをやれば自分が良くなる」とあせりまくってばかりより、「ここにいれば心がのびのびする関係」も育てつつ、休みながらゆっくりと歩く、ちよつと見には「後向きカメさんスタイル」が究極の勝ちをみる事も。それには、少しの時間、子供の為ではなくあなたの為に、子供からドーンと離れて「独り」になつてみたら？

保育段階を過ぎて「学校」という怪物に出くわした時にも、確かな人間関係が最良の元気の元。面倒を省いて無事、幼児期はやり過

ごしても、「何でそんなことに？」と学校に入ってからオタオタしている例もあるし、物事を根柢から考えて行動する」のは、良い土に育つ作物のようにおいしい味がある。

新年会の報告

墨田区

出席者（八名）の声を紹介。「エネルギーがあふれている人達ばかり」「はじめて会う人って魅力的」「ワープロの仕事休んで来たけど良かった」「初めてだけど楽しくて」等々。これからの私の生き方を話そうというやや漠然としたテーマであつた為、話題が育児の両立・託児、夫の協力度・趣味、はては最後の人生へとちよつと拡散しすぎた傾向でした。が、皆それぞれしがらみを負いながらも自分の枠を超えよう、広げようと頑張る熱意がありました。何はともあれ新しい出会いが活力を与えてくれます。お友達が一番の財産です。

とかく与えられたシステムを受け取るだけで自ら創造する意欲の少ない人が増えつつある昨今。しかし壁を破って行くのは個人個人の実存を賭けた孤独な闘いだだけだと思ふ。又気楽に情報を交換し合ひましょう。明日のメタモルフォーゼを夢見て。

これからが大変

杉並区

お産サイドブック読ませていただき、とても参考になりました。私は、旦那と一緒に居たい。会陰は切られたくない。ラマーズ法にトライしたい。等の希望を叶えられる浜田山の助産院で出産しました。陣痛最中の最もつらい時は、自分で選択したことだといえ自然分娩を選んだのは間違っていたのではなにか、これなら無痛分娩にすれば良かった。と後悔の念にかられた程でしたが、済んでみると、最後まで旦那と呼吸法で進めたこととか周りの人々の励ましの中で分娩できたこととかがとても貴重な体験に思えました。さて、生まれれば生まれたで、休みなしに次のことが始まり続いています。今までのとにかく、産む。ことだけに集中してきた訳ですが、やつとこれから「子育て」「保育」などあんふんての話題の中に入り込めるかなといった感じ。四月復職の前に保育園も決まなくてはならないし、一つ一つクリアしていかなくてはならない問題だらけです。息子の首がすわったら、事務局にお邪魔したり集会に出たりしたいと思っています。

みんなで作ったお産の本。『お産サイドブック』は評判が良く増刷したため、まだまだ在庫があります。妊娠中の方は勿論、プレゼントにもどうぞ。電話注文もOK。
03(313)4496 事務局まで。
定価600円(会員500円)+送料200円
東京9の20963 あんふんての会

情報コーナー

★託児付映画会——スタッフも募集します！
日時 2月27日(金) 10時～13時
3月30日(月) 10時～13時

場所 中野区婦人会館研修室・保育室
参加費 300円(子供の昼食代込)。昼食持参の人は200円。申し込みは事務局まで。

毎月一回行っている映画会も、スタッフ二人の妊娠が相次ぎ、手が足りない状態です。スタッフも交代で映画を見れるように配慮して、今後も映画会を続けていきたいので、スタッフになつてくれる人、事務局にTEL下さい。

映画会の託児場所である中野区婦人会館の保育室は、施設が整っていて、ミニ幼稚園という雰囲気。専用のお砂場もあり、陽はサンサン。子供たちは大喜び。日が当たらない我が家には、本当に感激の場所です。前回の映画会では、研修室で大きい子向けにディズニーのアニメを上映して好評でした。また情報図書室も婦人問題に関する本がたくさんあつて参考になります。(貸し出しは区民のみ)

2月14日(土) 枚方市民センター
2月18日(火) 土橋
3月12日(木) 広島区民センター
082(253)5884
3月14日(土) 広島労働会館
082(248)0666

なお、同映画についての問い合わせは、上映事務局



・先週より究極のおちこみ病で散々迷つての参加でしたが、案ずるより産むが易し。(円満)

★「もうひとつのヒロシマ」上映会
在日朝鮮人二世の女性作家・朴寿南(パク・スナム)さんが製作した、広島で被爆した在日韓国・朝鮮人の叫びの記録ドキュメンタリーです。全国で自主上映会が開かれています。

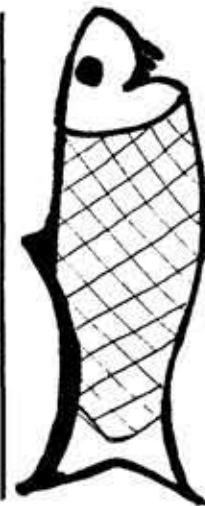
★お友達になつて下さい
兵庫県の社町という所で生まれ、結婚後、神戸・大阪・横浜と移り住み、十二月に石神井に来ました。三才の女の子がいるのですが、引越してきたばかりで母子共々寂しい日を送っております。どなたかお友達になつて頂けませんか。
北川

★(西武線石神井公園駅が一番近くです)
3月号の編集は池袋周辺グループ。近所に住んでいてまだ参加したことのない方大歓迎。連絡は ☎ 岸まで

事務局から

●遅くなりましたが、新年おめでとうございます。お正月には自分のことだけでなく、あんふあんのこの一年についても、ちゃんと考えたでしょうか？ 今年も、それぞれのあんふあんを始めましょう。

●地理的に事務局が近い人は、平日あんふあんでだけでなく、切手貼りの日も来て下さい。子連れでおしゃべりしながら作業するだけでも、情報誌が身近になりますヨ。来られそうだと思いますら、前日までに事務局へ連絡を。



スケジュールメモ

2月19日(木) 切手貼り (事務局)
 2月28日(土) 土曜あんふあんで (幾代宅)
 参加希望者は事務局に電話してください。
 2月25日(水) 平日あんふあんで移動編 (上野動物園)
 3月9日(月) 3月号発送・編集会議 (幾代宅)

編集スタッフより

●やつと二歳になったばかりの娘連れで、編集作業に参加しました。室内での作業中、「外遊び大好きな娘が、つまらない思いをするのでは」と心配していたのですが、年上のお姉さん(四歳)と遊ぶペースに慣れ、意外に楽しくすごしていました。良かった。(高井)

●仕事を持つ事に対して、いつのまにか後ろ向きになってしまった自分を発見し、愕然としました。でも居直ることだけは断固拒否して、いつまでもジタバタしていたいと思います。(大伏)

●アンケートにしっかり答えてもらってホントに感謝しています。今、ボン・ジョヴィに夢中。こんなに好きになれるパワーがあったのかと自分でもおどろいています。(伊吹)

●早めに準備を進めてゆつくりペースで編集。『しめ切り前の必死のガンバリ』という事態にはならずすみしました。未経験の人が多かったのですが、その初心の真剣さがとてもよかったです。まだ編集したことのないあなたも今年はぜひトライしてね。(加藤)

●ふだん無口無表情な夫が、子どもの就寝後バスタオルをかぶり「弦殺も詩を考え、内面の世界を持つようになったんだ」と涙をうかべながら話したのが表紙の詩です。

さて四月に長男入学、長女入園。どんな年になるかな。(吉岡)

事務局の世図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。

☆入会希望の場合は、なるべく六カ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。

☆事務局の電話受付は原則として月/金曜の1時から3時半ですので御協力を。

☆会費の振り込みを忘れている方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。